

## 「いわて・かまいしラグビー応援団」 サンクスパーティーを開催します!

ラグビーワールドカップ2019釜石開催のため、独自ボランティア活動でご協力をいただいた皆さんに対し、感謝の気持ちを込めてサンクスパーティーを開催します。

「いわて・かまいしラグビー応援団」および「いわて・かまいしラグビー応援の店」に登録いただいた方々をはじめ、どなたでもご参加いただけますので、奮ってご参加ください。

日時 12月1日(日)13時～16時  
(受付：12時30分～)

会場 釜石市民ホールTETTO ホールB

定員 200人

参加料 無料

申込方法 郵便番号、住所、氏名、電話番号、参加人数を明記の上、メール、FAX、郵送でお申し込みください

### 申し込み・問い合わせ

㈱岩手日報社 広告事業局 企画推進部  
〒020-8622 盛岡市内丸3-7  
☎ 019-653-4119 FAX 019-626-1881  
✉ ouendan@iwate-np.co.jp

## 第6弾 釜石ラグビー 応援グッズを販売します

市は、ラグビーワールドカップ2019™釜石開催を記念して、第6弾としてTシャツを販売します。

※売り上げの一部は「釜石市ラグビー子ども未来基金」に寄付されます

### 新素材釜石ラグビー応援Tシャツ

色：白 色：紺  
前のデザイン 後ろのデザイン

- 販売価格 3,300円(税込み)
- サイズ S・M・L・XL・XXL・XXXLの6段階
- 色の種類 白、紺
- 素材 ポリエステル × 天然繊維 (環境にやさしい高級素材)

販売店舗 シープラザ釜石・釜石特産店、道の駅釜石仙人峠、鶴の郷交流館・汐折、セブン-イレブン中妻町1丁目店



11月3日のワールドラグビーアワード2019で釜石市はキャラクター賞を授賞。授賞式に参加した山崎副市長、洞口留伊さん、桜庭吉彦さん(左から)

## 釜石開催への御礼

### 「かまいし」から「KAMAISHI」へ

9月20日に開幕したラグビーワールドカップ2019™日本大会。11月2日の決勝戦では南アフリカが勝利しウェブ・エリス・カップを掲げ、44日間の熱い戦いが幕を閉じました。

大会期間中に釜石市民ホールTETTOに設置されたファンゾーンには約3万9000人が来場し、みんなで声援を送りラグビーの楽しさを味わうことができました。11月2日のクロージングセレモニーでは、市内小中学生によるかまいし絆会議が「ありがとうの手紙 #Thank You From KAMAISHI」を合唱し、感謝の気持ちを発信し大会を締めくくりました。これまでThank You From KAMAISHIは復興支援に対する感謝の言葉でした。これからはラグビーワールドカップ釜石開催で得られた喜びや経験、人生の素晴らしさや世界平和の大切さを発信する言葉に変わります。

9月25日に釜石鶴住居復興スタジアムで行われたフィジー対ウルグアイは歴史に残る熱戦を繰り広げ、10月13日のナミビア対カナダの試合は台風の影響により中止になりましたが、カナダの選手がボランティア活動をするなど世界に釜石での取り組みが発信されました。

東日本大震災からの復興や大会開催までの取り組みがラグビーの価値を高めたとして11月3日に開催されたワールドラグビーアワードで「アワード・フォー・キャラクター(キャラクター賞)」という大変名誉な賞を釜石市が受賞することができました。

「かまいし」は今、世界の「KAMAISHI」になりました。アジアで初めて開催された大会は、日本の歴史と文化に大きな変革をもたらし、釜石は開催地としてのレガシーという素晴らしい宝をいただきました。この大会にご尽力いただいた関係者の皆様、ボランティアの皆様、岩手県民、釜石市民の皆様から感謝を申し上げます。

私たちはこのラグビーの精神やレガシーを大切にしていきたいと考えています。釜石鶴住居復興スタジアムの芝生に立つと、前を向き何事にもひたむきに取り組む姿勢の素晴らしさ、一つの目標にまとまって向かう喜びを強く感じます。まさにOne for all All for oneの精神そのものではないでしょうか。

釜石市長 野田 武則

# ラグビーワールドカップ2019™ 感動とともに閉幕

～この経験をレガシーとして、釜石の未来のために～

9月20日に開幕したラグビーワールドカップ、日本代表が初めて決勝トーナメントに出場するなど日本中がラグビーで盛り上がりました。11月2日の決勝戦で南アフリカが優勝し、44日間わたる大会が幕を閉じました。

釜石では2試合が開催される予定でしたが、10月13日のナミビア対カナダの試合は台風第19号の影響により中止になりました。

ラグビーワールドカップ開催を通じて得た経験がレガシーとなり、今後の釜石のまちづくりのために生かされます。



①9月20日 ラグビーワールドカップ2019開幕。ファンゾーンは、かまいし絆会議の児童・生徒らによる「ありがとうの手紙」の合唱でオープン。児童・生徒らは、11月2日のクロージングセレモニーでも合唱し、「これからの釜石の未来は私たちが創る」と力強く宣言しました  
②9月25日のフィジー対ウルグアイ戦観戦で小中学生が得た経験は、釜石の未来のための大きな財産になりました ③ボランティアスタッフの献身的なサポートが大会を成功に導きました ④10月13日に開催予定だったナミビア対カナダ戦。試合は中止となりましたが、スタジアム周辺には多くのファンが集まり大漁旗をなびかせました ⑤無念の中止を受けて、カナダ代表選手は台風で被災した住宅を回りボランティア活動を実施。釜石市民だけでなく世界中の人たちに勇気と希望を届けました ⑥大会期間中の28日間オープンしたファンゾーン。会場が一体となったパブリックビューイング、ゲストによるトークショー、地元産食材を使ったグルメ、ラグビー体験コーナーなどたくさん笑顔がふれました。復興情報を発信する大切な役割も果たしました